

第2回学校運営協議会 報告

【日 時】平成30年11月30日 15時半～16時半

【出席者】

学校運営協議会委員：伊東義輝（大阪成蹊短期大学）

須貝昭子（NPO 法人：市民活動フォーラムみのお）

浅井隆志（箕面市立第六中学校校長）

岩田美穂（本校PTA会長）

篠崎 朗（本校同窓会会長）

*小山正辰（森ノ宮医療大学） 欠席

校 長：國守正二

事務局：川上慶次郎（教頭）、堀 茂樹（教頭）、今西隆司（事務長）、長崎 孝（首席）、

室田真幸（首席）、森本光展（生徒支援委員会委員長）、佐藤隆夫（3年次主任）、小坂昇平（2年次主任）、亀ノ上裕介（1年次主任）

【説明・報告事項】

1. 箕面東高校の状況 校長より

- ・地震と台風による校舎等の被害
- ・文化祭や修学旅行等、行事の様子
- ・避難訓練の実施 など

2. 年次の状況

<1年次主任より>

- ・11月の校外学習では、現地集合、班活動がきちんとできていた
- ・来年度の修学旅行は、11月17日～20日の4日間、沖縄の石垣島に決定
- ・進路について、進路アンケートの結果

「四年制大学：42名 専門学校・短期大学：60名 未定：多数」

<2年次主任より>

- ・修学旅行（行先：台湾）について、190名ほど参加し、観光、学校交流、現地の大学生との交流や体験活動を行った。参加生徒の評価は、良かったという意見が多いようだ。

<3年次主任より>

- ・現在の進路状況について

「四年制大学・短大：40名程度 専門学校：54名 就職：40名程度

就労移行支援：2名 未定：20名」

- ・未定の生徒の中には、アルバイトをしながら資格取得・音楽・お笑いなどの目標を持つ者もいる。

3. 教育相談体制の状況 生徒支援委員会委員長より

- ①相談室の利用状況 2018年ののべ人数は1000名を超えると予想される。
- ②不登校生徒 1年生は昨年度の倍に。中学校で不登校だった生徒が、高校で再スタートを切れなかった形が多い。
- ③生徒支援委員会
 - ・1年次で、極端な低学力の生徒の支援をどうするか
 - ・2年次で、就職に向けて夏休みに就労体験を行う（本年は3名）
- ④SC・SSW派遣事業
- ⑤外部との連携
 - ・めいぷるカフェが、生徒の居場所の一つになっている。昼休みは平均10名程度来ている。先生たちが通常知りえない家庭の状況を把握することが可能となっている。
 - ・箕面市「らいとぴあ21」との連携

【協議事項】

1. 平成30年度学校運営計画の取り組みの進捗状況について(校長)

- ・委員 モジュール授業の効果はどのようなことがあるのか？
校長 全員を救えたとは思っていないが、これまでわからなかったことがわかったという声は卒業生から多く聞く
亀ノ上 習熟度別で生徒の人数が少ないため、生徒の状況を把握しやすい。
生徒から質問があることもある。
小坂 意欲的に授業に取り組む姿が見られ、自己肯定感が上がったと感じる。
- ・委員 inputするだけでなく、outputする力を高校生の段階から身につけると就職に役立つのではないか。

2. 授業アンケートについて(校長)

- ・委員 生徒意識の項目がCSにくらべてESが伸びてきているのはとても評価できるのではないか。
- ・委員 授業で寝ている生徒は徹底的に起こす取り組みを本校でも求められており、行っている。きちんとした評価を求められる傾向にもある。

以 上